

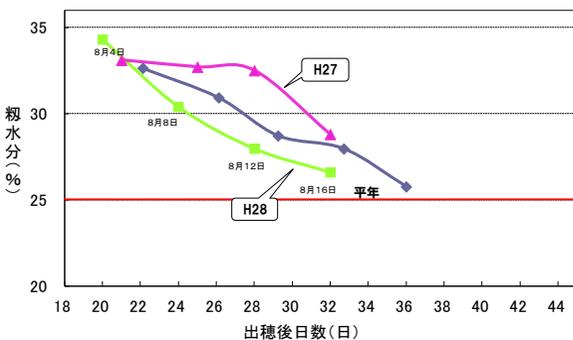
稲作情報 No.16

〔8月16日水稲登熟状況、大麦圃場準備〕

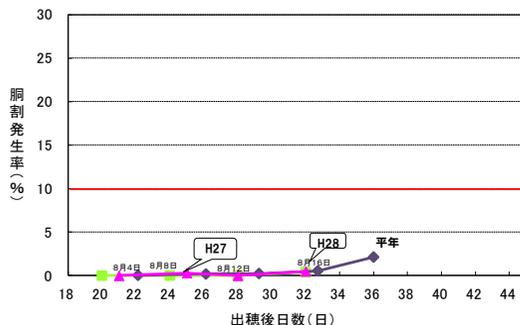
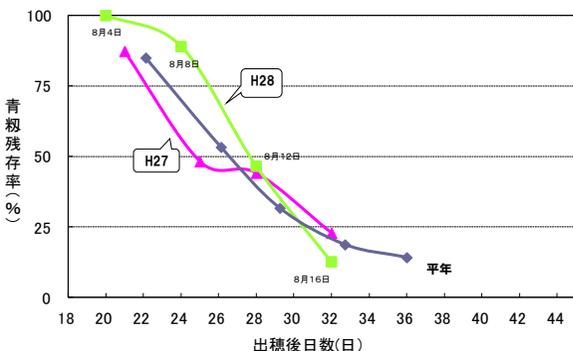
水田農業レベルアップ委員会技術普及部会(農業試験場、生産振興課、組合員トータルサポートセンター、JA経済連、主要農作物振興協会)
<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/inasaku/2016inasaku.html>

- ・**間断通水を収穫直前まで続け、根の活力維持を図りましょう。**
- ・**地域で籾水分を測定して適期収穫に備えましょう。**
- ・**大麦を播種する圃場では、稲刈りが終わりしだい、排水溝を設置しましょう。**

【農試におけるハナエチゼンの籾水分】



- ・農試ハナエチゼンの籾水分は平年より低く推移。
- ・胴割粒が0.1%発生。

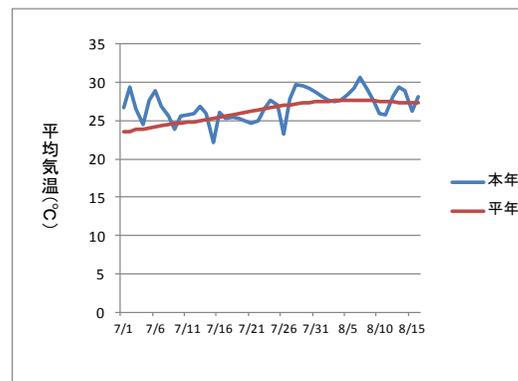


【農試における出穂期以降の積算気温に基づく収穫期予想】

ハナエチゼン(5月2日植)	出穂期	7月15日
	積算気温860°Cに到達する日	<u>8月16日</u>
コシヒカリ(5月20日植)	出穂期	8月3日
	積算気温990°Cに到達する日	<u>9月10日</u>

上記は今後平年並の気温で経過することを前提に算出。今後の気象条件等で変動するので、これを目安に籾水分等を確認して刈取日を決定する。

【7月以降の平均気温(福井)】



- ・8月に入ってから、平年よりやや気温の高い日が続いている。
- ・予報では、平年並みで気温は推移する見込み。

【移植コシヒカリの生育基準圃の出穂期と積算気温に基づく収穫期予想】

	福井市 砂子田	福井市 上河北	福井市 寺前町	永平寺町 谷口	福井市 真栗	坂井市 楽円	坂井市 折戸	坂井市 下久米田	坂井市 江留中	大野市 富嶋	大野市 上野	勝山市 龍谷
出穂期	8/3	8/1	8/1	8/4	8/1	8/4	8/3	8/3	8/3	8/2	7/31	8/3
収穫期	9/11	9/7	9/8	9/13	9/7	9/12	9/11	9/10	9/10	9/10	9/8	9/12

	鯖江市 中河	越前市 北町	越前市 山室	南越前町 合波	越前町 八田	越前町 細野	美浜町 興道寺	若狭町 神谷	小浜市 竹長	おおい町 山田	坂井 実践農場	農業 試験場
出穂期	8/1	7/29	8/1	8/5	7/30	8/2	8/6	8/12	7/30	7/27	8/2	8/3
収穫期 予想	9/7	9/4	9/7	9/15	9/5	9/9	9/14	9/21	9/6	9/2	9/9	9/10

* 積算気温は圃場に設置した温度計と圃場近隣のアメダス平年値を元に算出

【今後の栽培管理】

栽培管理	管理方法
<p>間断通水で登熟向上 適期収穫で胴割れ防止</p>	<p>【ハナエチゼン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫直前まで間断通水を実施し根に酸素と水分を供給する。収穫直前まで圃場の土が白く乾かないようにする。圃場が軟弱な場合は徐々に土を硬くするように努める。排水側の乾き具合も確認して入水を判断する。 ・各地域の出穂後の積算温度から成熟期を大まかに予測する（ハナエチゼンの成熟期は出穂後の積算温度でおおよそ860℃）。 ・予測に基づき圃場ごとの籾水分調査を行う。圃場条件（土質や葉の枯れ上がり、倒伏状況）を考慮した収穫順序を考える。 ・葉色が淡い、穂が小さい、籾数が少ないと早く籾が黄化する傾向にある。圃場の土壌条件（土質、地力、水持ち等）や葉色の推移、下葉の枯れ上がり、成熟期直前の降雨に留意し、適期刈取により胴割れ防止に努める。 ・収穫後は、わらの腐熟促進と漏生籾の発生防止のため早めに秋起しを行う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注意！ 秋起しはハナエチゼンの圃場もコシヒカリ収穫後に行う場合が多い。 ハナエチゼン圃場のヒコバエが実って翌年に漏生籾が発生する事例が発生している。</p> </div> <p>【コシヒカリ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫直前まで間断通水を実施し根に酸素と水分を供給する。収穫直前まで圃場の土が白く乾かないようにする。圃場が軟弱な場合は徐々に土を硬くするように努める。排水側の乾き具合も確認して入水を判断する。 ・フェーン現象や強風の日には終日深水管理とする。これらが治まったら直ちに落水する。 ・直播栽培では、根域が浅いので表面の土の乾燥に特に注意する。 ・各地域の出穂後の積算温度から成熟期を大まかに予測する（コシヒカリの成熟期は出穂後の積算温度でおおよそ990℃）。 ・予測に基づき圃場ごとの籾水分調査を行う。圃場条件（土質や葉の枯れ上がり、倒伏状況）を考慮した収穫順序を考える。 ・葉色が淡い、穂が小さい、籾数が少ないと早く籾が黄化する傾向にある。圃場の土壌条件（土質、地力、水持ち等）や葉色の推移、下葉の枯れ上がり、成熟期直前の降雨に留意し、適期刈取により胴割れ防止に努める。 ・カメムシ類の発生は平年より多い。カメムシ防除を地域ぐるみで適期に行う。斑点米の発生が毎年多い地域では収穫14～7日前にも防除を行う。コシヒカリの周辺にハナエチゼンがある圃場で防除する場合は、ハナエチゼンの収穫時期に注意が必要である。 <p>【その他の品種の成熟期を予測する積算温度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イクヒカリ 990℃ ・あきさかり 1070℃ <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;">   </div> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">一つの水田で入水側は十分湿っていても・・・排水側は相当乾いている</p>

【生育調査結果】

		ハナエチゼン			コシヒカリ								あきさかり		
		農試	坂井農場	現地	農試		坂井農場		現地・慣行		現地・特別栽培		農試	坂井農場	現地
		移植 5/2	移植 5/2	移植 4/29	移植 5/20	直播 5/9	移植 5/16	直播 5/6	移植 5/15	直播 5/4	移植 5/25	直播 5/3	移植 5/2	移植 5/16	移植 5/13
幼穂 形成期	本年	6/25	6/24	6/24	7/12	7/16	7/12	7/16	7/11	7/14	7/20	7/14	7/7	7/15	7/12
	平年	6/28	6/27	6/30	7/13	7/16	7/10	7/16	7/12	7/15	7/13	7/12	7/10	7/14	7/11
出穂期	本年	7/15	7/15	7/15	8/3	8/6	8/2	8/5	8/1	8/4	8/12	8/6	7/29	8/6	8/3
	平年	7/19	7/18	7/22	8/3	8/7	8/2	8/7	8/2	8/5	8/4	8/3	8/2	8/6	8/2

【農試気象対策試験における出穂期の止葉の葉色（SPAD値）】()は平年比

年	ハナエチゼン	コシヒカリ	あきさかり
28年（SPAD）	35. 2(92)	32. 1(93)	33. 0(97)
27年（SPAD）	34. 8	36. 2	31. 6
26年（SPAD）	40. 8	34. 6	35. 4
25年（SPAD）	37. 1	34. 9	34. 6

暑い日が続き水田の水管理は大変ですが、もうひと踏ん張りしていただいて、稲にも活力を与えてあげてください。

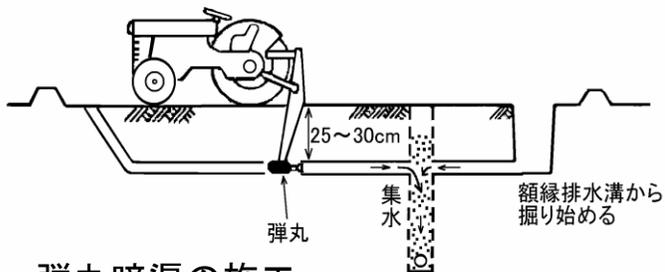
作業	作業の注意点
圃場準備(排水対策)	<ul style="list-style-type: none"> ・排水口（水尻落とし口）は水稻の水管理で高いことが多い。必ず額縁排水溝の底面より下になるよう掘り下げ、スムーズに水が流れ落ちるようにする。 ・額縁(周囲)排水溝を水稻刈取後できるだけ早く、25～30cmの深さの溝を設置し、圃場の乾燥に努める。 ・サブソイラ補助暗渠の施工は、額縁排水溝設置後すぐに行う。深さ25～30cmで額縁排水溝と連結し、本暗渠と直交に施工する。補助暗渠の施工は、大麦作だけでなく、後作の大豆作やそば作の排水対策にも有効である。 ・サブソイラ施工間隔は通常2～4m。排水が悪い圃場は1.5～2mを目安とする。 ・サブソイラ施工時は額縁排水溝底から引くように施工する。本暗渠と直行方向だけでなく、平行方向にも補助暗渠を設置すると一層排水効果が高まる。また大豆作においてかん水能率も高まる。 ・圃場内排水溝の深さは25～30cm、間隔は3～5m（畝幅）とする。圃場の排水性、播種作業、後作の大豆等の播種作業幅も勘案して施工間隔を決める。 ・暗渠がない場合やサブソイラの施工ができない場合は明渠の数を多くし排水に努める。 ・枕地の畝を作った場合には、畝を切って圃場内部から直接排水口に繋がる排水溝を必ず追加する。



・トレンチャーによる額縁排水溝の設置



・排水溝が高い場合は畦畔を切り排水する

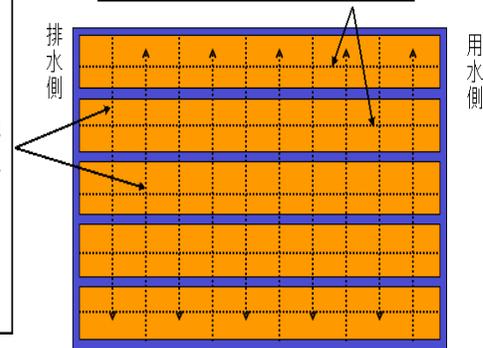


・弾丸暗渠の施工



暗渠と交差した補助暗渠
(標準)

(追加)暗渠に平行の補助暗渠



大豆

作業	作業の注意点										
病害虫防除	<ul style="list-style-type: none"> ・紫斑病と組み合わせて適期防除に努める。朝夕風のない時間帯に、薬剤が莢に充分付着するよう散布する。 										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="416 262 779 311">病害虫</th> <th data-bbox="779 262 1970 311">防除</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="416 311 779 359">紫斑病</td> <td data-bbox="779 311 1970 359">種子消毒や自家種を使用している場合は防除する</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 359 779 408">シロイチモジマダラメイガ</td> <td data-bbox="779 359 1970 408">幼虫が莢に食入する前、大豆若莢期から莢伸長期の8月中旬以降。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 408 779 548">フタスジヒメハムシ</td> <td data-bbox="779 408 1970 548"> 第2世代成虫の発生盛期である8月下旬が防除適期。 要防除水準は、8月下旬(第2世代成虫発生盛期)に払い落しを行い、1.5m、2条当たり約70頭以上の場合には直ちに防除する。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 548 779 712">カメムシ類</td> <td data-bbox="779 548 1970 712"> 圃場への侵入が多くなる子実肥大期(8月下旬)以降。8月下旬と9月10日頃の2回防除すると効果が高い。 要防除水準は、8月下旬(圃場侵入期)は100個体当たり0.3頭、9月中旬(発生盛期)は100個体当たり4.0頭以上の場合には防除する。 </td> </tr> </tbody> </table>	病害虫	防除	紫斑病	種子消毒や自家種を使用している場合は防除する	シロイチモジマダラメイガ	幼虫が莢に食入する前、大豆若莢期から莢伸長期の8月中旬以降。	フタスジヒメハムシ	第2世代成虫の発生盛期である8月下旬が防除適期。 要防除水準は、8月下旬(第2世代成虫発生盛期)に払い落しを行い、1.5m、2条当たり約70頭以上の場合には直ちに防除する。	カメムシ類	圃場への侵入が多くなる子実肥大期(8月下旬)以降。8月下旬と9月10日頃の2回防除すると効果が高い。 要防除水準は、8月下旬(圃場侵入期)は100個体当たり0.3頭、9月中旬(発生盛期)は100個体当たり4.0頭以上の場合には防除する。
	病害虫	防除									
	紫斑病	種子消毒や自家種を使用している場合は防除する									
	シロイチモジマダラメイガ	幼虫が莢に食入する前、大豆若莢期から莢伸長期の8月中旬以降。									
	フタスジヒメハムシ	第2世代成虫の発生盛期である8月下旬が防除適期。 要防除水準は、8月下旬(第2世代成虫発生盛期)に払い落しを行い、1.5m、2条当たり約70頭以上の場合には直ちに防除する。									
カメムシ類	圃場への侵入が多くなる子実肥大期(8月下旬)以降。8月下旬と9月10日頃の2回防除すると効果が高い。 要防除水準は、8月下旬(圃場侵入期)は100個体当たり0.3頭、9月中旬(発生盛期)は100個体当たり4.0頭以上の場合には防除する。										
<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤は最寄りのJAで取扱いの薬剤を御確認ください。 											

ふくいアグリネット「稲作情報システム」のご案内

ふくいアグリネット <http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/>
 稲作情報システム http://www.agri-et.pref.fukui.lg.jp/gizyutsu/ine_sys/index.html

①ふくいアグリネット・トップ→ 農業技術情報 →稲作情報システム

②年度、情報(生育状況、収量・品質)、地域、地点を選択

NO	地名	品種	栽培方法	地域区分
4	高山一姫	ハナエチゼン	移植	高平中
7	あわのこ伊井	ハナエチゼン	移植	坂井平
45	坂井農機一ノ木	ハナエチゼン	移植	坂井平
54	坂井農機二ノ木(産別)	コヒカリ	移植	坂井平
56	福井一姫	ハナエチゼン	移植	高平平
110	坂井二ノ木(産別)	コヒカリ	直播	坂井平
112	あわのこ(産別)	コヒカリ	直播	坂井平
113	坂井農機一木	あきさかり	直播	坂井平
114	坂井農機一産別	コヒカリ	移植	坂井平
70	福井二ノ木(産別)	コヒカリ	移植	高平平
71	福井二ノ木(産別)	コヒカリ	移植	高平平
72	あまのこ(産別)	コヒカリ	移植	高平平
73	津島二ノ木(産別)	コヒカリ	移植	高平平
74	三郷二ノ木(産別)	コヒカリ	移植	坂井平
75	丸岡二ノ木(産別)	コヒカリ	移植	坂井平
85	坂井二ノ木	あきさかり	移植	高平平
116	丸岡一姫	ハナエチゼン	移植	坂井平

③生育状況、収量、品質のグラフを表示

福井県農業情報ポータルサイト「ふくいアグリネット」において、県内各地(約40地点)の水稻の生育状況や収量・品質の調査データを「稲作情報システム」で掲載しています。現在の生育状況はもちろん、過去のデータ(生育、収量・品質)を調べることができます。ぜひご利用ください。

8月17日 11時 福井県の週間天気予報

【天気予報】

日付	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水
福井県	曇時々晴	曇時々晴	曇時々晴	曇時々晴	曇一時雨	曇一時雨	曇
降水確率 (%)	10/10/30/20	30	30	30	50	50	40
信頼度	/	/	C	B	C	C	C
最高(°C)	33	33 (31~35)	34 (31~35)	34 (32~36)	33 (30~35)	31 (28~33)	30 (28~34)
最低(°C)	24	25 (24~26)	25 (23~26)	25 (24~26)	25 (24~26)	24 (23~26)	24 (22~25)

【メールマガジン e農メール】

e農メールの登録については、こちらをご覧ください。
http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/a_mail.html



携帯電話ではQRコードで簡単アクセス

気象庁 気象統計情報(各種観測データ)
<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>

秋の田起こしによる おいしい米づくり を推進しています

Point

- 1 気温が高い10月中に実施**
 土中にすき込み、稲わらの腐熟を促進
- 2 田起こしはゆっくり、深さ15cmを確保**
 速度は歩く速さの1/4が目安 今ある機械で実践可能
- 3 有機物・ケイ酸の補給**
 稲わらの腐熟により有機物やケイ酸が増え、地力UP

深く起こすと根の張りが悪くなり、反収が多く、品質の良い米ができるよ。



収穫時の根の状態

耕うんの深さ
9cm



耕うんの深さ
15cm



反収アップで
収入増!!

反収

約530kg



約580kg

胴割発生減で
品質向上!!

胴割発生率

約13%



約1%

10月中の秋起こしを完了できるよう計画的に作業を進めましょう。

お問い合わせは福井県嶺南振興局農業経営支援部まで